

容量市場の経過措置見直しにともなうブラックスタート機能公募への影響に関するお知らせ

現在、総合資源エネルギー調査会 電力・ガス基本政策小委員会 制度検討作業部会において、2025年度向け容量市場メインオークションでの新たな経過措置について議論されております。

経過措置が見直された場合、2025年度向けブラックスタート機能公募の募集要綱および契約書（ひな型）における契約条件の料金算定式についても見直すこととなります。

新たな経過措置については現在議論中であり、現時点においては料金算定式を確定することができないことから、該当箇所については以下のとおり読み替えていただきますようお願い申し上げます。

<該当箇所>

ブラックスタート機能募集要綱（2025年度向け） 9. 主な契約条件 (2) 料金  
ブラックスタート機能契約書（ひな型） 第12条（基本料金および月間料金）

<p>現行規定</p>	<p>基本料金 = 本募集の入札価格 - 容量市場から支払われる対価相当金額 = 本募集の入札価格 - 本募集で落札した契約電源等の主機の送電端出力 × 調整係数<sup>※1</sup> × 経過措置係数<sup>※2</sup> × 2025年度が実需給年度となる容量市場における当社電力システムエリアの約定価格(円/kW) <sup>※3</sup></p> <p>※1 (略) ※2 (略) ※3 (略)</p>
<p>読み替え後</p>	<p>基本料金 = 本募集の入札価格 - 容量市場から支払われる対価相当金額<sup>※</sup> ※電力・ガス基本政策小委員会 制度検討作業部会等の議論結果により見直された場合は、新たな経過措置にもとづき算出された金額。見直されなかった場合は、現行の算定式（本募集で落札した契約電源等の主機の送電端出力×調整係数×経過措置係数×2025年度が実需給年度となる容量市場における当社電力システムエリアの約定価格(円/kW)）により算出された金額。</p>

読み替え内容：容量市場から支払われる対価相当金額について、現行の算定式を削除し今後の議論により決定することを記載いたしました。